

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
HPサイト http://www.kenpoukaigi.gr.jp

第264号

2010年9月30日

Tel 03-3261-9007
Fax 03-3261-5453

比例定数削減許すな！学習決起集会に会場いっぱいの参加者

中央9団体が共同して開催



(左) 全学連福田書記長 (右) 新婦人西川常任委員 (写真・片桐氏)

九月二十九日、憲法会議、自由法曹団、新婦人、全商連、全学連、全労連、民医連、民青、農民連の九団体が比例定数削減阻止の学習決起集会を開催、一五〇人が参加しました。冒頭、大黒作治全労連議長が主催者あいさつ、穀田恵二日本共産党国対委員長長の国会報告の後、小沢隆一慈恵医科大教授が「なぜ、いま比例定数削減か？」と題して講演をしました。また、各団体代表が決意表明、「全商連上げて阻止のために頑張る」等、取り組み強化を表明、最後に、高橋和枝新婦人副会長が「九団体はたたかひの先頭に立ち」と閉会挨拶を行い、集会アピールを確認しました。

アピール(要旨)衆議院比例定数の削減を阻止するため、職場・地域・学園、草の根からたたかひに立ち上がろう！

民主党・菅内閣は、衆議院比例定数の80削減について、その機会を伺っています。削減のねらいは、消費税の税率アップや憲法改悪を実現するために2大政党制を定着させ、強権政治を確立することにほかなりません。国会は国民の意思をくみ上げ、十分な審議を尽くす使命を持った、国権の最高機関です。国会議員を選ぶ制度は、多様な民意が公平、公正に反映されるものでなければなりません。いま、民主勢力が各地で素早く学習、宣伝を強め、日本共産党や公明党、社民党などが反対するなど、比例定数削減を阻止する条件も生まれています。留意すべきは、少なくない政党が小選挙区制の弊害を指摘し、本来あるべき選挙制度に目を向け始めていることです。私たちに求められていることは、比例定数削減の危険性を広く訴え、民意を反映する選挙制度への転換を求める国民的なたたかひに、草の根から直ちに取り組むことです。私たちは今日の学習決起集会の成功を第一歩として、比例定数削減阻止の取り組みをいっそう強めるために、次のことを心から呼びかけます。職場、地域、学園、草の根から学習、宣伝を進めましょう。比例定数削減反対の一点で、広範な政党、団体、個人の共同を発展させるために全力をあげましょう。